

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	3903	領域略称名	植物多能性幹細胞
研究領域名	植物の生命力を支える多能性幹細胞の基盤原理		
領域代表者名 (所属等)	梅田 正明 (奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、植物生存の永続性や旺盛な繁殖力を支える幹細胞システムを解明するための研究基盤を構築し、植物科学分野には存在しなかった幹細胞生物学の創成に取り組んだ。体細胞のリプログラミングにかかわる複数の転写因子の同定、植物ホルモンによるエピジェネティック制御を介した幹細胞の増殖・維持機構、さらにストレスに対する強靱な植物幹細胞の特徴の解明などに関して、ハイインパクトジャーナルでの発表を含めた実に多くの研究成果を得た。研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があったと評価される。加えて、本研究領域は、多くの女性研究者や若手研究者が参画し、当該研究分野の次世代研究者の育成に大きな貢献を果たしたことも高く評価される。

今後は、動物研究者との連携を更に強化するなど、動植物の枠を超えて多能性幹細胞の動作原理を明らかにし、生命生存システムの本質解明につながる研究へ発展することが期待される。